

笑顔と誇りを未来へつなぐまち 飯南

IINAN

未来
を
つな
ぎ
ま
す
の
飯南町

い-なん

2025

10

No.250

特集 健康で働き続けるために



大きいお兄さんたちには負けないよ



左から総務部の芥川優子さんと石川千春さん、専務取締役の後藤結子さん

職場の仲間を守る

後藤建設では、現場の労働環境を知るため、総務部が月1回作業現場を巡回。「現場で働く従業員は本当にかっこいい。皆さんの健康のために何ができるのかをいつも考えています」と総務部の皆さんは力を込めます。

地域インフラを支えている建設業。従業員は大切な「人財」だと後藤さんは続けます。「建設業という職場において、体調不良は重大事故につながりかねない。心身ともに健康で、現場を安全に運営してもらっているからこそ、地域からも信頼してもらえろ」と健康管理は本人やその家族を守ることはもちろん、企業の信頼にもつながることを話してくれました。

健康づくりがもたらした会社の変化

体調や職場で抱える不安などは、同僚に打ち明けづらいことも。「信頼関係があるからこそ、受診報告や、体調の話もできる。健康づくりを始めてから従業員との距離が近くなり、以前よりもコミュニケーションが取れるようになってきました」と後藤さん。

病院受診のため有給休暇を取得する従業員が増えるなど、健康や働き方への意識が変化してきたと手応えを感じています。

「社会の変化にに応じ、今後はハラスメント研修や従業員の年齢層に合わせた個別対応も必要だと感じている」と後藤さん。今後も従業員一人一人を大切に健康づくりを続けま

日常生活の中で長い時間を過ごす職場。職場の環境や意識が変わることは、自身の健康にも大きな影響があるのではないでしょうか。また、職場ぐるみで健康づくりに取り組むことは、従業員同士の信頼関係の構築や、働きやすい職場づくりにもつながります。

一人一人が健康で、気持ち良く働き続けられる環境づくりに、町全体で取り組んでいきましょう。

《サポート内容》

- 認定年数に応じた記念品の贈呈
- 健康講座の開催 など

これから職場の健康づくりに取り組む事業所も、保健師や管理栄養士がサポートします。ぜひご相談ください。

問い合わせ 保健福祉課 ☎72-1770

職場で健康づくりに取り組みませんか？「飯南町ヘルスアップ事業所認定事業」

町では健康づくりに取り組む事業所を「ヘルスアップ事業所」として認定し、取組が継続するようにサポートします。

例えば

- 受動喫煙対策をしている、健診受診率が高いなど職場の活動を認定します。



健康で働き続けるために

定年の延長や人口減少など社会環境の変化に伴い、健康で長く働き続けることは、働く人にとっても、雇用する企業にとっても大きな関心事ではないでしょうか。継続した健康づくりは1人では難しいことも。職場ぐるみで健康づくりを進める、株式会社後藤建設の取組から健康づくりについて考えます。

長年の取組を表彰

今年8月、従業員の健康づくりに取り組む「ヘルス・マネジメント認定制度」の認定基準を5年連続満たしているとして、株式会社後藤建設が丸山県知事から表彰を受けました。職場での健康管理、喫煙対策、メンタルヘルス対策など28項目の認定基準を満たすほか、医師との連携など独自の取組を長年続けています。

きっかけは喫煙対策

約20年前、女性従業員の妊娠をきっかけに、従業員の健康づくりを一層考えるようになったと話するのは、専務取締役の後藤結子さん。受動喫煙の危険性を伝え、保健師を招いた社内研修会などを開催。繰り返し啓発活動を行うことで徐々に喫煙者の理解も得られ、事務所内禁煙や分煙を徹底しました。

現在は、労務管理を担当する総務部が中心となり従業員の健康づくりを推進。職場環境の改善や健康維持のアイデアを出し合っています。



作業の休憩時間に和やかに談笑する藤原幸吉さん(左)、名原隼人さん(右)

安心して働き続けられる職場

入社4年目の名原さんは、会社の取組には安心感があるといいます。「先日は誕生日を会社の朝礼でお祝いしてもらった。職場の雰囲気も良く、入社してから一度も辞めたいと思ったことはありません」と笑顔で話します。

入社30年以上の藤原さんは、入院時に会社が加入してくれている医療保険のおかげで、安心して療養できたと言います。「体調の変化も職場で気にかけてもらっている。健康の大切さを実感しているからこそ、会社ぐるみの取組がありがたい」と話しました。

体調を理由にした退職者が出ないよう、健康で長く勤められる会社づくりを目指しています。建設業の現場はチームプレーが大切。従業員同士声をかけあい、健康や体調の変化にも気づける関係性を大事にしています。

代表取締役
後藤 幹司 さん

後藤建設が進める健康づくりの主な取組

- 健康診断・人間ドックの受診率100%
- 会社負担で医療保険に加入
- 精密検査が必要な人への医師と連携したサポート体制の構築
- 勤務時間内に該当者全員が特定保健指導を受けられるよう配慮
- 受診のために有給休暇が時間単位で取得可能



赤名地域まちづくり連絡会が主催する恒例のイベント「第19回銀山街道ウォーキング」が開催されました。
陰陽を結んだ銀の道を歩く「銀山街道ウォーキング」と、戦国武将たちの息吹を感じる「衣掛山武名ヶ平山周遊登山」のうち、参加者は希望のコースを選択。約2、3時間をかけ、周囲の景色や歴史を感じながら歩きました。
街道コースでは、古民家で着物姿の町娘がお茶を渡すなど、当時の雰囲気再現する演出に参加者は楽しみました。



熱心にガイドの話を聞く登山コースの参加者



往年の道をたどる 銀山街道ウォーキング

10.5
日



小学生が交通安全を呼びかけ 運転マナーアップ作戦

秋の全国交通安全運動にあわせ、スポーツ少年団が道の駅頓原で交通安全を呼びかける運動が、飯南町交通安全対策協議会の主催で行われました。
本町の特産品であるりんご（アップル）と運転マナーアップを掛けた「マナーアップル作戦」と愛称をつけ、交通事故防止を目的に平成17年の合併当初から行われている活動です。
当日は、少年野球チームの飯南ワイルドボアーズから約20人が参加。国道54号を通行する車に啓発チラシやりんごなどを手渡し、交通ルールを守り安全運転することを呼びかけました。



「信号や横断歩道に気を付けて、安全運転してください」と声かけ

9.29
月



力強い唄声を響かせ 全国相撲甚句会全国大会出場

新潟県佐渡市で開催された第12回全国相撲甚句会全国大会に、野見宿禰赤名相撲甚句会が参加しました。
相撲甚句の普及や愛好家同士の交流を目的とした大会で、全国各地から13団体が参加。約100人の参加者全員による合唱からスタートし、各団体が日頃の練習の成果を披露しました。
野見宿禰赤名相撲甚句会は、上赤名がルーツだと言われている相撲の元祖「野見宿禰」を称える唄を披露し、会場を盛り上げました。



前回の飯南町大会から7年ぶりの全国大会

9.20
土



スポーツを通して交流を深める 令和7年度志々地区合同体育大会

志々小学校と志々地区スポーツ協会の共催で、小学生と住民による合同体育大会が開催されました。
小学生14人と、5つの地区に分かれた住民がさまざまな種目に挑戦。志々小学校全校児童がパフォーマーを披露し、息の合った踊りに、会場からは大きな声援が送られました。
世代を超えて競技を楽しめるようにと、志々地区スポーツ協会が趣向を凝らした種目を準備。バケツにスパーボールを投げ入れる玉入れなどユニークな種目に、笑顔の絶えない体育大会となりました。



ユニークな種目を通して年齢を超えた交流を楽しみました

9.20
土



みんなの力でまちを楽しく みんきじカーニバル

来島地区の地域づくりに取り組む来島ビジョン推進会議主催の「みんきじカーニバル」が開催されました。
多肉植物の寄せ植え教室、プラモデルの制作体験などのワークショップや、ハンドメイドアクセサリー、クロモジ茶の販売など、住民の特技や趣味を生かしたブースが並びました。
来島小3、4年生は、草木染めした布で作ったヘアゴムなど小物を販売。赤来中の生徒は、卒業研究に関するアンケート調査を行うなど、地域の子どもの活躍も見られました。



屋外には飲食ブースも出店し1日中楽しめるイベントとなりました

9.27
土



大人も子どもも一緒に競う 赤名町民体育大会

「第54回赤名町民体育大会」が赤名小学校のグラウンドで開催されました。
当日は、保育所児童から大人まで約70人が参加し、借り物競争やパン食い競争などの種目で競い合いました。最後の競技として行われた地区対抗リレーでは、先を走るアンカーが残り2チームのアンカーを待って走り出すなど、和気あいあいとした大会となりました。
普段あまり顔を合わせる機会のない人同士の交流が生まれ、会話を楽しんでいました。



接戦が繰り広げられた玉入れ

9.28
日



田舎の秋を体験 姉妹都市交流イベント

姉妹都市である兵庫県伊丹市との交流イベントが佐見地区で行われました。
経験する機会の少ない農作業体験や自然と触れ合う機会、佐見地区の住民との交流を目的として、伊丹市の市民が本町を訪問。伊丹市からは、高校生やカナダ、アルゼンチン出身者など合わせて22人が参加しました。
初日は谷地区程原のふれあい養魚場でのやまめ釣りや、佐見地区で野菜の収穫や栗拾いを体験。素手で土に触れながら、白ネギや里芋を収穫しました。



土を掘り起こして里芋を収穫

10.4
～5
日

2日間は、今回の交流会のメインイベントである稲刈りが行われました。農事組合法人大安伸が管理する約10アールの田んぼで、今年5月に田植え交流会で植えられた稲を刈り取り、地域住民から教わりながら、鎌で刈り、ハデ干しをしました。
2日間を通して、飯南町ならではの経験や地域住民との交流を楽しんだ伊丹市の皆さん。秋の味覚や収穫体験を堪能し、満足した様子で「泥んこでの収穫体験は夢中になりました」と話しました。



フクロウに似たヨズクハデに稲束をかけて



「認知症でも人生を諦めないで」とメッセージを送る丹野さん

保健福祉センターで、若年性認知症への理解を深めることを目的に、映画「オレンジ・ランプ」の上映会を行いました。

「オレンジ・ランプ」は若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに、誰もが安心して暮らせる社会を考える映画。上映にあたり、丹野さんからビデオメッセージが送られました。

町内の介護施設職員、医療従事者など約40人が参加。認知症への理解を深めました。

町は認知症の正しい知識を持つため、健康教室など様々な啓発活動を行っています。

映画「オレンジ・ランプ」 上映会

9月17日(水)



ブランドさつまも「森の絹」の貯蔵倉庫を見学

本町のふるさと納税に返礼品を出品している事業所を巡るバスツアーを、昨年に続き開催しました。

サイトやパンフレットで見られない返礼品を、本町に来て実際に味わい、体験することで、特産品やまちの魅力を伝えることが目的。東京や広島から33人が参加し、りんご狩りやしめ飾りづくり体験、奥出雲和牛を使った昼食などで飯南町を満喫しました。

今後も広島や東京など町外に向けたPRを行い、ふるさと納税の寄附増加や本町の魅力発信を進めていきます。

ふるさと納税 バスツアーを開催

9月20日(土)



源本部長が塚原町長へ目録を贈呈

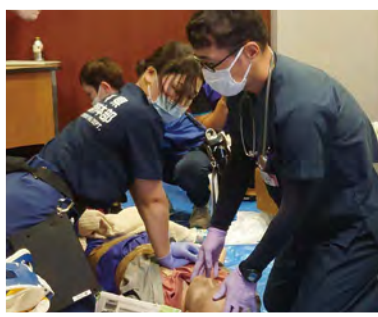
島根県農業協同組合雲南地区本部から、カーブミラー1基の寄贈を受けました。

同組合では、交通事故のないまちづくりに寄与するため、交通事故防止機器を寄贈する取組を、長年にわたり実施。本町には平成17年以降、88基のカーブミラーを寄贈していただいています。

この度寄贈されたカーブミラーは、三日市地内(来島)に設置予定で、交通事故防止に役立てていきます。

カーブミラー寄贈

9月22日(月)



飯南チームによる急性アルコール中毒と薬物中毒を想定した救急措置

島根県消防学校(松江市)で開催された「島根メディカルラリー」へ飯南病院の医師、看護師と飯南消防署の合同チームが参加しました。

実際の救急現場を想定した競技で、県内外の医師、看護師、救急救命士など約300人が参加。交通事故、地震による家屋倒壊など7つの想定に対して、救命措置や搬送に至るまでの対応をチームで競いました。

メディカルラリー参加にあたり、飯南チームは飯南消防署で訓練を実施。今後も飯南消防署と連携し、町の医療の質向上に取り組めます。

島根メディカル ラリー

9月27日(土)



篠原フサコさん

今年度100歳をお迎えの方をお祝いしました。内閣総理大臣からの祝状と銀杯をお届けした方は、次の皆さまです。

(生年月日順)

- ・田邊 諄子さん
- ・篠原 フサコさん
- ・水間 一子さん
- ・中村 和枝さん
- ・三島 澄江さん
- ・原 フサコさん
- ・松原 博信さん
- ・梶谷 アキノさん

10月1日現在、飯南町には100歳以上の方が19人いらっしゃいます。

問合せ
保健福祉課 72・1770

百寿おめでとございます



田邊諄子さん



中村和枝さん



梶谷アキノさん



水間一子さん

松原博信さん 三島澄江さん 原フサコさん



グループワークで参加者同士の意見交換も行いました

赤名環境改善センターで、学校運営協議会委員研修会を開催しました。

昨年度から、町内全ての小中学校が、学校と地域住民等が学校運営に取り組み「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の制度を導入し、活動を進めています。

事例発表や、静岡県で世代や学校を超えたつながりづくりに取り組み、小田圭介さんが講演。研修会には、協議会委員を務める住民や地域団体などが参加し、地域と学校の連携について学びを深めました。

今後も研修会や情報共有を行い、町全体で子どもたちを育てる学校づくりを推進していきます。

学校運営協議会 委員研修会を開催

9月12日(金)

総合振興計画等評価委員会 答申

「第2次総合振興計画後期基本計画」「第2期総合戦略」で定めた施策の進捗や成果を、評価委員会(影山和典委員長)で評価し、9月5日に答申書が提出されました。

評価委員会での意見は、来年度事業の組み立てに反映していきたいと考えています。主な意見は下記のとおりです(詳細は町ホームページに記載)。

①総合振興計画等目標指標の状況(主な指標)

目標指標	基準値(H30)	実績値(R6)	目標値(R6)
出生数	23.8人/年 119人/5年 (H27-R1)	13人/年 (R2-6平均値20人)	30人/年 150人/5年 (R2-6)
社会増減数	±0人/年 (H27-R1)	-47人/年 (R2-6平均値-13人)	+5人/年 (R2-6)
婚姻数	14組/年 (H26-30)	2組/年 (R2-6平均値5組)	20組/年 (R2-6)
UIターン移住者数	47.5人/年 (H27-30)	45人/年 (R2-6平均値39人)	53人/年 (R2-6)
ふるさと納税件数と納税額	4,896件 141,885千円	4,576件 151,954千円	6,500件 200,000千円

②施策ごとの主な意見について

政策分野1 自治・協働

- 地域コミュニティの活動支援
- ・地域の役の整理と共に、地域コミュニティを支援するための自治体等(社協含む)の推進体制も構築していただきたい。

政策分野2 教育・文化・子育て

- 子育て世帯への経済的支援
- ・飯南町は全国に名だたる子育て支援ということで雑誌などで見かけるが、ここをもっと磨いてほしい。全国的にみると3,4番目なので、財源のことはあるが、1位になるよう強みを磨いてほしい。

政策分野3 産業

- ブランド化の推進
- ・飯南米のPRは非常によい取組だと思うが、そこはファーストステップであって、その後どうやって米農家の収入を増やすかまで考えないといけない。良いものを作っているのはみんなわかっていて、あとは売り方の問題なので、そこをもう少し考えるべき。

政策分野5 生活環境

- 受け入れ体制の充実
- ・UIターン者が増えているのに人口の社会減が増えている。単純に考えると町民であった人が出て行っているということ。町民が町外に出たいという理由があるはずで、その原因を突き詰めないと、この傾向は続くのではないか。

政策分野6 自然環境

- 自然環境保全意識の啓発
- ・コンポストは分解したものを肥料として活用できるが、畑や花壇がない家庭にも広げようと思うなら、作ったものをどこかで集めて、例えば「ここに来れば無料でもらえる」というような、最終的な活用方法までできていると広がりやすいのではないか。



塚原町長が影山委員長から答申書を受領しました。

島根県種畜共進会

9月27日(土)



松原健吾さんが出品した「きなこ号」

島根中央家畜市場(松江市宍道町)で、「令和7年度島根県種畜共進会」が開催されました。本町からは、8月に開催した「飯南町秋季畜産共進会」で上位に入賞された渡部雅弘さん(上来島)、松原健吾さん(野萱)、山田多美子さん(八神)がそれぞれ1頭を出品。島根県内の牛とグラランドチャンピオンの座をかけて競い、松原健吾さんが出品した「きなこ号」が優秀賞三席を受賞しました。

明治安田生命相互保険会社に感謝状

10月2日(木)



明治安田生命松江支社の小山支社長(左)と塚原町長

明治安田生命相互保険会社から寄附金(711,800円)の目録贈呈があり、塚原町長から感謝状を渡しました。同社は「私の地元応援募金」として、全従業員が出身地などのゆかりのある地域の自治体などに募金し、会社からの寄附を上乘せし、自治体に寄附されています。同社からの寄附は4年連続。この度の寄附金は町民の皆さんの健康増進事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

しめ縄づくり体験活動

10月6日(月)
10日(金)



思いのほか力があることに驚きながら撚り合わせました

ふるさと学習の一環として、町内小学校4校の3年生が2組に分かれ、しめ縄づくり体験活動を行いました。しめ縄づくりを通して、ふるさとに愛着を持つってもらうことを目的に毎年実施。今年度は赤名小と来島小児童が2メートル級のしめ縄の撚り合わせ体験し、頓原小と志々小の児童が小型のしめ縄づくりを体験しました。体験した児童は「大きいしめ縄はみんなで力を合わせないとできないことがわかった」と話していました。

宝くじ 広く社会に役立つ



テーブル、パイプイスなどを整備しました(向谷自治会)

地域活動の活性化のため、宝くじ社会貢献広報事業の助成を受け、向谷自治会と川東自治会の2団体が、エアコンをはじめとした備品を整備しました。この事業は、(一財)自治総合センターが、地域のコミュニティ活動の充実・強化と地域社会の健全な発展、住民福祉の向上のため、宝くじの受託事業収入を財源として実施する事業です。

healthycolumn

健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院 便り

飯南町の皆様へ 4年間ありがとうございました



飯南病院
内科
ふみ た しょうへい
文田 昌平

飯南病院内科の文田昌平です。このたび9月末で異動となり、皆様にこれまでの御礼を申し上げます。

2020年の総合診療専攻医の時に1年6か月、2023年から2年6か月と計4年間勤務をさせていただきました。医師になってから9年になりますが、気が付けば一番長く勤務させていただいた病院で、医師としての基本、心構えなどは全部飯南病院、患者さんたちから教えてもらったなという気持ちです。

飯南町の出身ではありませんが、職員や住民の皆様には大変親切にいただき、とても愛着のある町、病院となりました。

飯南病院に来るまでは、自分の仕事は病院のなかで完結していましたが、むしろ患者さんが家に帰ってから

が本番だなどということも多くありました。患者さんが家に帰るまでに保健行政、民生委員、特に仕事でなくても関わってくれる方々との連携などを通じて、地域の健康を支えるためにこれだけの人や組織が動いているのだなど、身をもって感じることができました。

また、訪問診療をするようになり、実際の住民の皆様の生活の様子を知ることができたのはとても良い学びになりました。雪の多い季節では、高齢の患者さんは生活にも困ることが多いと思いますが、地域の方々が助け合って生活している姿には今まで自分が知らなかった色々な側面が見えて感動を覚えました。

今回また出雲で勤務をすることになりました。慣れ親しんだ飯南病院を離れるのは寂しいですが、また地域医療でお役にたてるように、少しでも成長できるように勉強をしていきたいと思います。

僕はスキーが全くできませんが、子どもの雪遊びなどで現れた時には声をかけていただけたら嬉しいです。4年間本当にありがとうございました。

保健福祉センター 便り

気になったら相談を！「児童虐待防止」

毎年11月は「児童虐待防止推進月間」です。家庭・学校・地域が連携し、児童虐待を防ぎましょう。

児童虐待とは？

身体的虐待



殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など

性的虐待



こどもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

ネグレクト



家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

心理的虐待



言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、こどもの目の前で家族に対して暴力をふるう（面前DV）など

誰でも余裕がなくなると、イライラしたり、落ち込んだりすることが多くなります。意図せず相手にきつくあたったりすることもあります。

悩んでいること、お聞かせください

虐待に関する悩みや不安があれば、ご相談ください。

飯南町子ども家庭センター
(保健福祉センター内)

☎0854-72-1770

児童虐待かも?と思ったら「189(いちばやく)」情報提供や相談を!!



政府広報
オンライン

出典: こども家庭庁ホームページ

楽しさいっぱい
図書館探検

飯南町立図書館

●中央図書館 76-2160
●頼原図書館 72-0301



ぶっくん でんたくん

第79回 秋の読書週間

期間 10月27日(月)～11月9日(日) 標語「こころとあたまの、深呼吸。」

●「秋の読書週間企画」

◎ブックカフェ

期間 10月29日(水)～10月31日(金) 10:00～15:00
場所 中央図書館

3日間限定で館内にカフェコーナーを設置します。ゆっくりおくつろぎください。

◎分類別年間貸出ランキング展示

期間 10月中旬～11月30日(日)

場所 中央図書館

町立図書館でよく借りられた本の貸出ランキングをジャンルごとに発表し展示します。

◎ハロウィンフォトスポット

期間 10月3日(金)～10月31日(金)

場所 中央図書館

イラストパネルやハロウィングッズのフォトスポットを設置します。

●「趣味講座」～裂き織りを楽しむ～

日時 12月21日(日)10:00～12:00

会場 来島交流センター

講師 山本かおりさん

定員 10名

裂き織り機を使ってコースターかフリーマットを作ります。

【おねがい】

町立図書館では現在、住民の方を対象に利用アンケートを実施しています。今後の取組の参考にさせていただきますので、ご協力くださる方は、右記の二次元バーコードからご回答ください。

●回答締め切り:11月10日(月)



アンケート回答フォーム



みんなでつくる!

笑顔あふれる飯南暮らし



「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

第4回 わらべの学校 ～志々地区を舞台に～

わらべの学校は、平成8年度に保育所や小学生の児童を対象とした講座(毎月1回)として始まりました。(志々公民館が主催)

30年ほど前、地域内のほとんどの家庭は複合世帯で兼業農家。今のように放課後支援や長期休み中の児童クラブがない中、田植えシーズン、特にこどもの日は、田植え真っ最中。子どもたちは自分たちだけで遊んだり、ファミコンもはやり始めた頃でした。

そこで、月に1回16ミリ映写機で子どもたちに映画を見もらう活動を始め、これがわらべの学校のはじまり。まだ角井分校もあり、志々地区で小学生は40人くらい。保育所の子どもたちも一緒に映画上映を楽しみました。2年目以降は映画だけではなく、地域内でさまざまな体験活動を展開。地域民泊やもらい湯もある「通学合宿」、ふるさと学習など地域とのかかわりを大切にしながら、志々地区ならではの活動が行われています。

複合世帯の減少や営農組織による農業等、子どもたちや地域を取り巻く環境の変化はあるものの、わらべの学校での体験は、子どもたちが地域や地域活動に思いを持つきっかけになっています。

「ふるさとを巣立った子ども達がどこで暮らしていても、志々を心の支えとして活躍してほしい」「また、ふるさとに帰ってきてほしい」。そんな願いのもと30年続いている活動です。

令和7年度わらべの学校

～今後の行事予定～

- 11月28日(金) ピザづくり
- 12月19日(金) クリスマスケーキづくり
- 1月1日(木) 元旦マラソン
- 2月6日(金) 集落支援員さんとあそぼう
- 3月6日(金) 卒業・進級をお祝いする会



高校生と一緒に菓子づくり
卵が上手に割れるかな



通学合宿で地元のお寺(明眼寺)に訪問
お寺はいつの時代も憩いの場

しまね社会貢献基金制度

島根県では、企業等の皆さまからの寄附金を原資に「しまね社会貢献基金」を運営し、社会貢献活動を行う団体へ支援金の助成を行っています。

●**支援対象団体** 一定の条件を満たすNPO法人、市民活動団体、一般社団法人等

●**支援事業**

①活動団体支援事業

事業や団体運営費用に対して助成

②クラウドファンディング事業

イベントや特別なプロジェクト等の実施に対して助成

③寄附者設定テーマ事業

寄附者が設定したテーマに基づいた事業に対して助成

◎しまね社会貢献基金への寄附も受け付けています。

助成申請、寄附方法など詳しくは
お問い合わせください。



島根いきいき広場

問合せ 島根県NPO活動推進室
☎0852-22-5096

雲南法人会「文化講演会」開催

令和7年度税を考える週間協賛の文化講演会を開催します。

●**演題** 「舞台裏から見た政治・経済～日本再生のために何が必要か～」

●**講師** 経済ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏
(プロフィール詳細)経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」他多方面で活躍中。また、平成19年から24年まで内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発。

●**日時** 令和7年11月15日(土)
午後2時～3時半(開場 午後1時)

●**会場** チェリパホール(雲南市木次町里方55)

●**申込締切** 11月7日(金)

問合せ・申込み (公財)雲南法人会
☎0854-45-0212

広島交響楽団音楽鑑賞教室

広島広域都市圏の児童・生徒(小学生～高校生)及びその保護者を対象に、音楽鑑賞教室を開催します。オーケストラや演奏曲にまつわる話を交えながら、プロのオーケストラの演奏をお届けします。

【広島交響楽団オーケストラ音楽鑑賞教室】

指揮:鈴木 織衛

●**プログラム**

・ドヴォルザーク:スラヴ舞曲第1番

・ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より 第1楽章 ほか3曲

●**日時** 令和7年12月21日(日)
14時半～15時半(14時開場)

●**会場** はつかいち文化ホール ウッドワンさくらびあ大ホール(広島県廿日市市下平良1丁目11-1)

●**鑑賞料** 小学生:700円、中学生:800円、高校生:900円、保護者:900円※別途発券手数料などがかります。

●**申込方法** チケットぴあホームページもしくはセブンイレブン店頭 ※Pコード:309-757 ※自由席・先着販売

問合せ

広島広域都市圏協議会事務局
(広島市広域都市圏推進課内)

☎082-504-2017



詳細は広島広域都市圏ホームページでご確認ください。

令和8年度大阪学生会館入寮生募集

令和8年度の入寮生を募集しています。

●**募集施設**

島根県育英会大阪学生会館

所在地:大阪府吹田市 部屋タイプ:個室 定員:70名

●**寮費**

・月額寮費(朝・夕2食付き)…5万6,000円、その他自室電気料金等

・入寮費…12万円または15万円(入寮前に納入)

●**応募資格**

島根県で生活経験があり、大学・短大・大学院・高専(4年生以上)、専修学校(専門課程)に在学中か令和8年度進学希望者

●**申込期限** 10月31日(金)

※次期募集12月1日～3月31日予定

問合せ (公財)島根県育英会
☎0852-28-1981



島根県育英会

毒キノコによる食中毒に注意

秋のキノコ狩りシーズンには、毒キノコによる食中毒に注意しましょう。

●**むやみに採取しない**

食用のキノコと確実に判断できないキノコは、むやみに採取したり、食べたり、人にあげないようにしましょう。

●**すぐに医療機関へ**

キノコを食べて体調が悪くなったなら、すぐに医師の診察を受けてください。

●**スギヒラタケに注意**

従来食用とされてきたスギヒラタケは、急性脳症の発症原因である可能性が考えられています。食べることは控えてください。



毒キノコに要注意(厚生労働省)

問合せ 産業振興課
☎76-2214

いいなん暮らし 応援給付申請受付中

Uターンし、飯南町で暮らし続ける人を応援するポイント給付の申請を受け付けています。

【**給付対象者**】

15歳以上35歳未満の出身者で、5年以上町内に暮らす意志があり、次のいずれかに該当する人

※しまね留学等により島根県立飯南高等学校へ進学し卒業した人を含みます。

●令和7年3月1日以降に転入した人

●進学または就労のため町外に住んでいたが、令和7年4月1日以降に町内に居住地を移した人

●令和6年度以降に町立中学校または高等学校卒業後、そのまま町内に暮らす人

【**給付内容**】

飯南町商工会が運営する「い〜にゃんPAY」ポイントを給付します。

●町内居住…上限50万ポイント

●町内に居住、就労等…上限100万ポイント

対象者の要件など詳しくは
お問い合わせください。



町ホームページ

問合せ まちづくり推進課
☎76-2864

求 人 情 報

無料職業紹介所で受け付けた求人を紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所
(役場まちづくり推進課内)
☎76-2864

※表示のない市外局番は「0854」です

一覧はHPより
ご確認ください



加田の湯	76-3357
浴室管理、フロント受付、施設内外の清掃、買い出し、配達特になし(経験者優遇) ◎時962～1,050円	パート 1～2人

(有)ホリエ	72-0102
農林業機械の販売・修理、建設機械レンタル業特になし ◎日8,500～12,000円	フル 1人

JA全農Aコープ(株) Aコープきじま・あかな店	76-2319
店舗業務(青果・鮮魚・食品等の商品づくり・品出し・レジ等) ◎時962円	パート 3人

JA全農Aコープ(株) Aコープエルシー店	72-1221
商品づくりまたは補充・レジ等 ◎時962円	パート 2人

放課後子ども教室(教育委員会)	76-3944
放課後、保護者のお迎えを待つ児童の見守り(宿題等を教える必要はありません) 最初1～3日間程度は、就労体験(賃金あり)が可能 ◎時994円	パート 1人

(株)後藤建設	72-0103
現場技術員(正社員) 建設機械運転経験者 ◎月212,000～252,000円	フル 1人
建築施工管理技術者(正社員) 1・2級建築施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人
土木施工管理技術者(正社員) 1・2級土木施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人

日本郵便(株)来島・頓原郵便局	76-2300
郵便業務(郵便物の集配)(正社員登用制度あり) 原付か自動二輪か普通自動車運転免許 ◎時1,070円～	パート 1人
窓口業務(正社員登用制度あり) ◎時990円～	パート 1人

(株)堀江運送	72-0102
機そその他輸送、小荷物配送、一般廃棄物輸送等 普通運転免許(AT限定不可) ◎日8,500～12,000円	フル 1人

(株)一福	72-0006
ホール業務全般 特になし ◎時平日1,020円・土日祝 1,070円	パート 2人

飯南町地域づくり協同組合	72-0097
派遣先により命ぜられた業務(農業・製造業・サービス業等) 派遣業務により大特、フォークリフト等資格あれば優遇 ◎月166,000～300,000円	フル 2人



森林セラピーガイド4人がデビュー

現在、飯南町森林セラピーガイドの登録者は11人。今回新たに4人(飯南町在住1人、町外在住3人)が正式ガイドとして加わりました。ガイドとして登録されるには、講座の受講や、ガイドとしてお客様をご案内する経験を積む必要があります。空き時間を見つけて、飯南町の森へ通い、学んでおられた皆さんは、緊張しながらも達成感に満ち溢れた表情で、塚原町長から認定証とユニフォームを受け取っておられました。

現在、5人が養成講座を受講中で、ガイドデビューに向けて日々学びを深めています。

「町民向けセラピー」の受付も実施中です。詳細は飯南町観光協会までお問い合わせください!



写真左から、中山さん、迫さん、塚原町長、荻野会長、熊崎さん、神所さん

森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

森林セラピー通信

飯南町らしい、介護予防の取り組み

「介護予防」とは、65歳以上のすべての方が対象となるもので、介護が必要な状態にならないように、元気なうちから予防していくという取り組みです。介護予防において必要な「活発な社会交流」「定期的な身体活動」という要素が、森林セラピーに当てはまると思います。

飯南町の皆様がこれからも健康で元気に暮らすために、ぜひ森林セラピーをご活用ください。



こんにちは
中山間地域研究センターです。

秋季のツキノワグマに注意!

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



ホームページはこちら

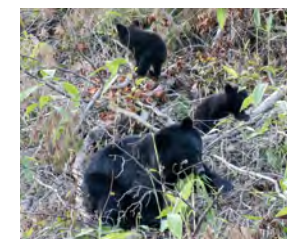
近ごろ、全国各地でクマに関するニュースが流れ、皆さまも強い関心を持たれているのではないのでしょうか。秋季は、登山やキャンプ、紅葉狩りなど行楽のシーズンですが、クマとの遭遇に注意が必要です。

クマの出没傾向

秋季のクマは、冬眠に備えてドングリなどの木の実を大量に食べます。クマの人里への出没は、木の実の豊作年には少なく凶作年には増加します。毎年全県で実施している豊凶調査から今年は並作～豊作傾向(速報値)です。

このため、秋季の出没は少ないと予想されますが、より多くの餌を求めて人里へ出没する個体もいます。クマに出会わないために、次のことを心掛けてください。

子グマには注意!!
子グマの近くには母グマがいます。
絶対に近づいてはいけません。



短歌

赤名短歌会 九月詠草

千の風峰の向うの雲連れて吹きわたる里に彼岸花さく
霧ふかき朝の国道をスタスタと白いパンツが吸い込まれゆく
短歌会は絶対やめるなど云う主治医子供を諭す母の如くに
備蓄米未だしも足りねば古古古米今年の作柄おむね良好
電線に並んで止まる秋ツバメ海を渡る日間近になりて
鈴虫の星降る夜に鳴きいづる幾百年のとき隔てても
露に濡れ月のひかりに濡れながら空蟬ひとつフェンスに眠る
涼風を待ちくたびれてため息す 蒸し暑きかなああスキ梅雨
愛妻の腫瘍手術を待つ間文字は追へどもただに追ふのみ

吉川 咲子
石田 フクエ
本間 麗子
澤田 勝登
星野 敦子
清原 豊明
澤田 久美子
門所 詠子
鳥田 勝信



すこやかに 9月届出分

福留 瑠木 勇 貴(八神)

やすらぎに 9月届出分

お名前 塚本 和子 良 二(上赤名)

松田 美澄 様(96) 辰 志(小田)

石田 フクエ 様(95) 修 司(下赤名)

渡邊 アキコ 様(103) 弘 之(赤名)

高橋 智哉 様(84) 広 樹(花栗)

みんなの権標語

令和6年度「家族でつくる人権標語」優秀作品から

ゆつくりと
きかせてほしい
きみのこえ

頼原小学校3年 藤原 唯人さん
家族名 咲人さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない
明るいまちづくりをめざしましょう。

●11月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頼原・志々	5日(水) 12日(水)
赤名	22日(土) 26日(水)
来島	15日(土) 19日(水)

〔クリーン(株)〕☎72-1401(頼原地域)
〔クリーン(株)〕☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

雲南市
飯南町事務組合
ホームページ



●11月のごみ収集日

収集地区	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類 収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類 収集日	資源物 収集日
町区、敷波(古城・稲荷・田嶺下)	10日(月)	25日(火)	19日(水)
都加賀、奥畑、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田嶺西・田嶺東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・オ谷1・オ谷2)、志津見、角井	11日(火)	26日(水)	
川東、川西(南)	12日(水)	27日(木)	
赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	4日(火)	17日(月)	
上赤名、下赤名、谷、上来島(上来島・安江・横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下来島	5日(水)	18日(火)	26日(水)
上来島(杉戸)、野萱(塚原・三日市・野萱・下三日市)	6日(木)	19日(水)	

〔いいしクリーンセンター〕☎72-9217

2025
11

まちのスケジュール

📖 教育 🏠 健康・保健 🌸 文化・体育 💡 その他

1 土	📖 頼原中文化祭 💡 紅葉祭(～2日)(うぐいす茶屋周辺)
2 日	
3 月 文化の日	🌸 来島地区文化祭(来島交流センター)
4 火	
5 水	
6 木	
7 金	📖 赤名小学習発表会
8 土	📖 小学校学習発表会(頼原・志々・来島) 🏠 家庭の味まつり(さつき会館)
9 日	
10 月	💡 行政相談(保健福祉センター)
11 火	
12 水	📖 中学校修学旅行(～14日) 🏠 オレンジカフェ(交流センターとんぼら)
13 木	
14 金	
15 土	🌸 お菓子づくり体験「パンづくり教室」(赤名農産物加工施設)
16 日	💡 しまね家庭の日 💡 英語でおはなし会(中央図書館)
17 月	🏠 乳がん検診(保健センター)
18 火	🏠 オレンジカフェ(赤名福島邸)
19 水	🏠 ほっと.Café 食講座【食材コンプリート】(来島保健センター)
20 木	🏠 1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)
21 金	
22 土	🏠 オレンジカフェ(上赤名会館)
23 日 勤労感謝の日	
24 月 振替休日	
25 火	
26 水	🌸 立石たたら&鉄穴流し跡フィールドワーク(来島交流センター)
27 木	
28 金	🏠 オレンジカフェ(つがが工房) 💡 はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
29 土	🏠 地域ケアフォーラム(保健福祉センター) 💡 人材育成講座「レゴ®シリアスプレイ®」(来島交流センター)
30 日	

〈毎週火・水・金曜日〉 🏠 ほっと.Café(来島保健センター)

町の人口 4,274人(前月比-10人) 世帯数1,982戸 R7.10.1 現在



休みの日も医院に行き、治療の準備をしようという福岡さん。忙しい仕事の合間の息抜きは、お酒を飲むこと。友人たちとお酒を飲みながら、賑やかに過ごす時間が好きだといいます。飯南町にもよく帰省すると福岡さん。「飯南町の自然と、静かな環境が好きです」

「歯科医院が少なくなると、きつと患者さんが困る。そうした状況は防ぎたいと思いました」と話すのは、福岡有華さん(30歳)。

「ふくま歯科医院」(佐見)を開業した父親が、地域の方から信頼されている様子をよく目にし、歯科医師を目指す

「ルーツいいなん 51」

このまちに住んでいようと、なかならうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介します。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

地域の患者さんを守る

決意をしたと話します。

高校卒業後は九州歯科大学に進学。バスケットボール部に所属し、歯科大学が参加する全国大会にも出場した経験を持ちます。

「国家試験に向けた勉強もあつて忙しかつたけど、とても充実した大学生生活でした」と福岡さんは笑顔で振り返ります。

歯科医師国家試験に合格後、臨床研修先として選んだのは、島根県立中央病院。総合病院のため、他の診療科と連携した治療を経験したほか、救急外来も担当。一般歯科ではできない経験が



ふくま あり か
福岡 有華

飯南町佐見出身。中学生の時に「歯科医師を目指す」と決意し、松江北高へ進学。九州歯科大学を卒業し、歯科医師となる。島根県立中央病院での研修を経て、現在は歯科医院勤務(岡山市在住)。

積めたと話します。

「転倒して歯が折れたなど、救急処置が必要な患者さんが来院されることも。1人に対応する時もあり、緊張感がありました」と福岡さん。

福岡さんは現在、一般歯科の経験を積むため、岡山市内の歯科医院に勤務。「総合病院とは違い、一人の患者さんが治っていく過程を近くで見ることができる。『歯医者さんになったんだ』と実感しています」と話します。

「将来は飯南町に戻り、歯科医師として働きたい」。その思いを胸に、福岡さんは日々経験を積んでいます。

今日の表紙

9月28日に行われた赤名町民体育大会の徒競走の様子です。地域の皆さんに見守られながら、一生懸命にゴールを目指して走ります。

年齢を問わず一緒に走るレース。隣を走る中学生のお兄さんたちが速度を加減しながら走ると、観覧者に笑みがこぼれました。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ